

令和5年度 年間事業計画

東筑保育園

今年度5月より新型コロナウイルスが5類相当になることが決定され、園でのマスク着用や感染予防等の対応について未だ不確定の状況であるが、国や自治体の指導に沿って保育を進めていきたい。保育士不足が取り沙汰されているなか自園でも保育士の離職が続いており、やりがいや誇りを持ち且つ安心して働き続けられる職場作りと共に保育士の人材確保・育成・定着の取り組みが急務となっている。また、園舎の老朽化に伴い施設内の修繕・整備等が必須であるため、適切な環境を維持し、安全第一に努めていく。

【令和5年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

(1) 保育の充実

- ①環境・子どもの興味や関心を捉え、あそびが主体的に発展するような環境を整える。また、バス置き去りや不適切保育が多く報道される昨今の時勢に鑑み、安全管理を徹底し園全体で子どもへのかかわり方や言葉かけ等の一つひとつを見直ししながら、保育士の専門性を高めていく。
- ②健康・園庭の傾斜を活かしてあそぶなかで子どもたちのバランス感覚を養い、体力の向上を図るとともに3歳以上児の体操、マラソン、竹馬等は引き続き行っていく。

(2) 研修の充実

- ・外部研修にも積極的に参加し、一人ひとりの職員の意識向上と自己研鑽を深める。また、園内研修の充実を図るとともに、職員間の協力体制強化に努める。法人内研修に向けても前年度の取り組みをふまえつつ、副主任がサポートしながら専門・分野別リーダーを含めた研修体制を構築していきたい。

(3) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み

- ①不適切保育がクローズアップされ、保育者の資質が問われる中、保育所保育指針に謳われている『子どもの最善の利益』や『子どもの人権・人格の尊重』の観点を再度、捉え直し、より質の高い保育を考える。
 - ア 令和5年度は専門リーダーに副主任1名を加えて、参集方式で年4回開催する。
 - イ 研修テーマは『子どもの人権』を基本に、「ことば」「コミュニケーション能力」「配慮の必要な子どもの対応」等に幅を広げながら、保育者の関わり方を考えていく。
 - ウ 法人内研修のテーマを各園で園内研修として取り組み、自園の課題等を分析し、6園で調査・研究を進めていく。
 - エ 講師を招いての研修会を行い、職員全体の意識向上に努める。
- ②「保育士の心得(冊子)」を周知し、職員の共通理解、意識の向上を図る。

2. 円滑な園の運営と充実

- ・新型コロナウイルスの影響により、地域交流等は全て控えざるを得なかった。今後の社会情勢に伴い例年通りに開催できるようになれば、地域・年長者・小学校・近隣保育所との交流を再開していきたい。

3. エコ活動の取り組み

- ・リサイクル … プルタブ、段ボール等は則松市民センターへ持参
- ・ペットボトルのキャップはスーパーへ持参
- ・子どもたちにわかりやすく「エコ」について話し、関心が持てるようにする

4. 施設整備及び管理

園舎が築44年となり老朽化が進み、園児の安全・安心を第一に考え、内装の修繕工事を計画的に取り組んできた。令和5年度も継続して①各クラスの補修工事②屋外防雨型大型時計③自動火災報知設備改修などの老朽箇所を、計画に沿って、継続的に修繕等を行いたい。

【4月入所予定児童数】

定員：120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月入所児童数	7名	19名	24名	18名	17名	16名	101名

【一時保育利用状況 見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
20件	40,000円	10件	15,000円	30件	55,000円

※ 保護者などのパート就労や疾病、出産及び育児リフレッシュなどの理由により、一時的に家庭での保育に困難をきたした時、その子どもを保育所で保育する。したがって、通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

◀ 職員配置 ▶ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況 見込数】

利用登録人数（年間）	200名	平均実利用者数	10名
------------	------	---------	-----

※ 異年齢児の関わりを大切に遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子どもたちが心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

◀ 職員配置 ▶ 正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

1. 保育理念

児童保育施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

子ども一人ひとりを大切に、健全な心身の発達を促し、思いやりのある意欲的な子どもを育てる。

3. 保育目標

* じょうぶな身体、元気な子ども

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、素足保育を行い丈夫な身体を作る。
- ・ 食に意欲と関心を持ち、健康な身体を作る。

* 心身ともに豊かな子ども

- ・ 地域との交流を深め、世代間交流・異年齢児保育を通して、思いやりのある豊かな心を育てる。

* 自分で考え意欲的な子ども

- ・ 身の回りのことは、自分でする力を育てる。
- ・ 自分の意志をはっきりと伝え、相手の話すこともよく聞く力を育てる。

○ 保育内容

保育指針を基礎にして、毎月職員会議を開き、各年齢に応じた養護・教育のねらい及び内容からカリキュラムを作成し、愛情豊かな保育を進めていく。

また、職員研修では、子ども達が、保育所において安定した生活（すなわち生命の保持及び情緒の安定）と充実した活動ができるように、研究課題を出し合い検討していく。

例えば ① 子どもの人権について

② 記録の取り方や指導計画作成について

③ 保護者との対応の仕方（多様化する育児への考え）

④ 一時保育・延長保育について

○ 行 事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は、知育面・体力面を考慮して目的地を選択し、そのうち1回は、親子遠足、バス遠足を取り入れる。（現地視察）
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながらも、一人ひとりを大切に参加させる。

○ 安全対策

- ・ 毎月1回火災等の緊急事態を想定した避難訓練を行う。
- ・ 地震災害を想定した避難訓練、不審者侵入を想定した防犯訓練を各年2回実施する。
- ・ 安全管理に関し職員の共通理解を図るとともに、日頃から園全体で情報交換を行う。
- ・ 誘拐その他の不法な侵入から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入し薬剤情報提供書等がある場合にはそれも添付するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の方や民生児童委員の方々との食事会やふれあい交流活動を行う。
- ・ 高齢者ホームの入所者や地域のお年寄りを招待又は訪問し、季節的行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 地域の行事（敬老会・市民センター秋祭り等）に参加する。
- ・ 卒園児を含む一般児童を保育園に招き、交流を深める。
- ・ 小・中・高等学校等の生徒を対象とする一日保育士体験学習を行う。
- ・ 一時保育事業を行う。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

（保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

○ 保育担当

担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修

- ・ 全国・県・市・区関係及び、各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討し、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者（別紙2の通り）

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区則松二丁目9番1号 1, 204.74m²

(2) 建物 鉄筋コンクリート造2階建の1階部分 707.13m²

6. 資金計画

通常経費は、
・委託費収入
・その他の事業収入
・利用者等外給食費収入
・利用者等利用料収入
・受取利息配当金収入
・雑収入
・補助金事業収入
・受入研修費収入

等によるものとする。

【令和5年度主な行事】

実施月	行 事	参加者	場所・会場
4 月	令和5年度 第44回 入園式及び進級式(クラス懇談会) チューリップ見学 交通安全・防犯指導 食材買い物 こいのぼりあげ	全児・保護者 4・5歳児 以上児・折尾警察署 年長児 全 児	保 育 園 内 金 山 川 周 辺 保 育 園 内 平 田 商 店 則松西1号公園
5 月	遠足ごっこ 春の親子遠足 野菜植えつけ エコ・マザー 園児健康診断 1回目 シルエット劇場 則松小学校交流会	年長児 全児・保護者 以上児 全 児 全 児 年長児 以上児	保 育 園 内 グリーンプーク 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 黒崎ひびしんホール 保 育 園 内
6 月	保育参加・参観(講演会・クラス懇談会・給食試食会) クッキング プラネタリウム見学 歯科検診 折尾保育所交流会	全児・保護者 年長児 年長児 4・5歳児 年長児	保 育 園 内 保 育 園 内 児童文化科学館 保 育 園 内 保 育 園 内
7 月	七夕交流会 プール開き 職員健康診断 小学・中学・高校生体験学習 野菜収穫 則松市民センター・地域合同防災訓練 則松小学校交流会	年長児・年長者 全 児 職 員 全児・小学、中学、高校生 以上児 全児・地域住民 以上児	サングリーンホーム 保 育 園 内 健 康 セ ン タ ー 保 育 園 内 保 育 園 内 保育園・則松市民センター等 保 育 園 内
8 月	おたのしみ会(卒園児交流会) プール納め 中学・高校生体験学習(ボランティアセンター)	年長児・卒園児 全 児 全児・中学、高校生	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
10月	第44回 大運動会 交通安全指導 園児健康診断 2回目 秋の遠足 折尾保育所交流会 スポーツ支援(サッカー)	全 児 年長児 全 児 全児(年齢別) 年長児 年長児	則松西1号公園・則松小学校体育館 交 通 公 園 保 育 園 内 保育所近辺公園 則松西1号公園 則松西1号公園
11月	芋掘り(園外) 則松市民センター秋の文化祭 七五三祝(神社参拝) 則松小学校2年生交流会 勤労感謝訪問 則松小学校学芸会見学	年長児 年長児 年長児 年長児 年長児 年長児	田 仲 農 園 則松市民センター 鷹 見 神 社 則 松 小 学 校 則松市民センター・囃子医等 則 松 小 学 校

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 2 月	第44回 生活発表会 高齢者ホーム訪問 年長者とのふれあい交流会 クリスマス会 スポーツ支援（サッカー）	全 児 年 長 児 年長児・地域住民 全 児 4・5歳児	保 育 園 内 サングリーンホーム 則松市民センター 保 育 園 内 則松西1号公園
1 月	たこあげ 則松市民センター・地域合同防災訓練 祖父母・地域の方との交流会	1歳児～5歳児 全児・地域住民・八幡西消防署 年長児・祖父母・地域の方	則松西1号公園 保育園・則松市民センター 保 育 園 内
2 月	節分（豆まき） 折尾保育所交流会 個別懇談会 保育参加・参観（講演会・クラス懇談会・給食試食会） クッキング 折尾保育所交流会	全 児 年 長 児 全クラス・保護者 全児・保護者 年 中 児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 折 尾 保 育 所
3 月	ひなまつり お別れ遠足 お別れ会 2回（バイキング・シールラリー） 第44回 卒園式	全 児 全児（年齢別） 以 上 児 4・5歳児・卒園児保護者	保 育 園 内 近 辺 公 園 等 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・おたのしみ会（誕生会） ・避難訓練 ・身体測定 ・園外保育 ・定例職員会議
- ・園内研修会 ・給食関係職員O-157検査
- ・則松西1号公園等清掃（クリーンday）
- ・地震災害を想定した避難訓練や、不法な侵入から子どもたちを守る防犯訓練、台風等を想定した風水害避難訓練を必要に応じて実施する。
- ・毎月始めに園便り、クラス便り、給食献立表及び給食（食育）便りを発行する。

2. その他

- ・お泊り（日帰り）保育（年長児） ・一日保育士体験 ・ほのぼのルーム（則松市民センター主催）年3回
- ・消防設備保守点検等 ・設置遊具等の安全点検 ・個人懇談は必要に応じて実施する。
- ・事業協会 所（園）長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加する。

4. 子育て支援や則松小学校区地域住民会議理事会、委員会等に積極的に参加する。

※新型コロナウイルス感染状況によっては、延期または中止となることがある。